

議会運営委員会会議録

(令和5年2月6日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議会運営委員会会議録

本日の会議 令和5年2月6日(月)
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	山下正敏	副委員長	鷹野正志
委員	嘉喜山茂	委員	石川秀夫
委員	金繁典子	委員	那須芳人

欠席委員

なし

出席委員外議員

議長	原田達也	副議長	佐々木史仁
----	------	-----	-------

傍聴委員外議員

議員	少林法子
----	------

職務のため出席した者

議会事務局長	本多幸雄	局長補佐	小松一恵
--------	------	------	------

説明のため出席した者

なし

本日の委員会に付した案件

- (1) 議会基本条例の検証について
- (2) 福島町議会視察研修を踏まえた検討について
- (3) その他

開会	13時30分
閉会	13時55分

○**鷹野副委員長** 失礼いたします。定刻になりましたので、全協に引き続きまして、議会運営委員会を開会いたします。

まず、委員長挨拶、お願いいたします。

○**山下委員長** 皆さん、こんにちは。議会運営委員会の招集をしましたところ、全員の出席をいただき、ありがとうございます。

今日の協議内容は、議会基本条例の検証と、福島町議会視察研修を踏まえた検討についてです。本日の議会基本条例の検証については、我々しっかり検証することで、さらなる議会改革につながると思っていますので、どうか皆さんよろしくをお願いいたします。

それでは、早速ですが協議に入りたいと思います。

それでは、議会基本条例の検証について。

12月16日に、評価シートの提出依頼をし、議長を除く議員全員の提出をいただきました。

議会資料1の評価集計表により、それぞれ評価等が出ております。

議会資料2の評価点は、小数点第2位を四捨五入した数値を入れております。

評価理由と今後の取組、検討項目について、この委員会で協議・検証していきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

それでは、事務局より説明を求めます。

本多事務局長。

○**本多事務局長** 説明させていただきます。

皆さんのお手元の資料の議会資料1なんですけれども、それが各、議長を除く、議員の皆様から届いた意見となります。この意見につきまして、それぞれ考えがあらうかと思っておりますので、この意見をまとめて、先ほど説明がありましたように、議会資料2の評価検証シートの評価理由と、あと今後の取組をまとめていただけたらと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

以上です。

○**山下委員長** それでは、評価理由を皆さんに出していただきたいんですが、皆さんからそれぞれ評価の理由が出ておるんですが、これをどのようにまとめるか。検証でどのようにまとめていくのか、皆さんの御意見をお聞きしたいと思います。

これ、結構な数の評価理由がずっと出ておりますので、その取扱いについて。

石川委員。

○**石川委員** 評価1ですと、評価の評点としては3.62という平均が出ています。これ全部を、評価理由をまとめるほうも、私は委員長、副委員長に一任はしますが、まとめるのもなかなか大変じゃないかなというふうに思いますが。

基本的には委員長、副委員長に一任します。

○**山下委員長** これ、皆さんの意見なんで、例えば全て出してくれという方もおれば、集約してこの中を、この部分とこの部分は出してくれとかいろいろ意見があると思うんですよ。そのやり方について。

嘉喜山委員。

○**嘉喜山委員** この部分だけ出してくれとか、そういったことはなかなか難しいんじゃないかなと私は思います。全体的に見ると、それぞれの議員の中で評価同じものもあるので、そこら辺を踏まえた上で、私も委員長、副委員長に一任したいと思います。

以上です。

○**山下委員長** ほかの委員の方の御意見ありませんか。

金繁委員。

○**金繁委員** 私も嘉喜山委員と同じように、まとめるというのはすごく大変なので、同じものは

一つにまとめながらも、違うものは残してできるだけそのままがいいのではないかと。

というのも、評価もかなり幅があって、平均点を載せるにしても、評価ばらばらですので、このまま出すことによって、町民の人も分かりやすいので、あっこういう意見もあるんだ、こういう意見もあるんだというのを分かるんじゃないかなと思います。

○山下委員長 金繁委員はこのまま出すという……。

○金繁委員 同じものは省略し……。

○山下委員長 ああ、この中で。

○金繁委員 できるだけ。

○山下委員長 取捨選択して。

○金繁委員 はい。

○山下委員長 ほかの委員の方、御意見ございませんか。

那須委員。

○那須委員 私もこのままで結構じゃないかなというふうに思いますし、むしろ、いじくったほうがおかしいなという気がしますので。多様な意見があって当たり前なので、このまま出してもらいたいというふうに思います。

○山下委員長 そういう意見ですので、それを踏まえた上で、先ほどの御意見の委員長、副委員長一任でよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○山下委員長 返事が少ないので。よろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○山下委員長 では、そうさせていただきます。

そして次、課題ですよ。今後の取組について。これも何か御意見。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 私は委員長、副委員長一任です。

○山下委員長 ほかの委員の方、御意見ありませんか。

金繁委員。

○金繁委員 ここも評価の理由と同じで、そのままがいいのではないかと考えます。

○山下委員長 そういう意見ですので、委員長、副委員長一任でやりたいと思います。

1の議会基本条例の検証については、以上でよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○山下委員長 続いて、福島町議会視察研修を踏まえた検討について。

福島町議会で議員研修をしてきました。その中で、愛南町で今後取り入れたいというような取組があれば、御意見があればお聞かせください。

ありませんか。

金繁委員。

○金繁委員 各議員が、福島町議会に行った後の視察報告ありますよね、それを見ながらやっではどうでしょうか。

○山下委員長 本多事務局長、視察報告のファイルというか、まとめたものあるんですか。

○本多事務局長 12月定例議会の初日ですか、そこの議案の中に載っていると思います。ちょっと確認します。

(発言する者あり)

○山下委員長 この報告書は結構項目が多いので、我々の議運の任期も4月いっぱいということで、そこに迫っております。だから今回は、この中で何点か絞っていただいて、この取組をとということで部分的に決めていただきたいと思います。

金繁委員。

○金繁委員 報告6の方が書いていらっしゃるのが、一問一答方式、これはもう活性化でやりましたけれども、執行部の事前解答、一般質問公表チラシをしてはどうかというのがありますね。それから報告9、これ私なんですけれども、1から15、ちょっと検討してほしいと思って、項目を挙げています。

この2つぐらいですよ、項目として、こういうのをやったらどうでしょうかというのは。

○山下委員長 今、金繁委員から、2つの点について、検討ということが出ましたが、皆さんほかに御意見ありませんか。

金繁委員。

○金繁委員 1から15まで、私の項目は多いんですけども、その中で特に検討していただきたいと思うのが、①の福島町でされていた全ての会議を公開で、テレビ放映、インターネットで録画中継すると。会議は議場で行うので、別に何も準備することはありませんということでした。これ、ぜひ検討いただきたいと思います。

それから、9番目の選挙公報、これは行政とも関係が出てくるんですが、ぜひ検討していただけたらと思います。

そして7番の学識経験者に入ってもらおうということで、これは以前からちょこちょこ出ていまして。すみません、1番と7番。全部言ってしまうと、3分の1に絞ると、1・7・9・11・13・14なんですけど。で、7は学識経験者で、熊本県の御船町もアドバイザー制度ってあったんですが、福島町も北海道大学の教授に十数年入ってもらっていたということで、議会を活性化していくために、外部の学識経験者に入ってくださいということをお願いしていただけたらと思います。

あと9の選挙公報を出すということと、11、会議録の作成を業者委託ではなく、町内の方をお願いしてやることによって、議事録が速く、そして経費も半額以下になったというお話で、たしかこの前の町村議長会の研修で長内先生もこれをやったらどうですかとおっしゃっていました。ぜひ検討していただきたいと思います。

それから13の傍聴者に対する規則を見直すということ、これも早稲田大学のマニフェスト研究所の中村事務局長のほうから、恐らく合併以前の昭和の時代からの内容なので早く見直したほうがいいですよということも言われておりました。

それから14の政務調査費。歳費については、一度しっかり検討して公聴会も開いているんですけども、政務調査費について早く、これも江藤先生が条例をつくって実施したほうがいいですよとおっしゃっていました。福島町もそうされていたので。

これまで繰り返し出てきた重要なものが、私はこの1・7・9・11・13・14だと考えています。ぜひ御検討をお願いします。

○山下委員長 はい、分かりました。

ほかの委員の方、検討すべき項目があれば。

ほかの委員の方は、希望というか、検討希望はありませんかね。福島町議会に見習いたいというか、そういう点があれば。

嘉喜山委員。

○嘉喜山委員 これといった項目は挙げられませんが、行動力、これに尽きると私は思っております。

○山下委員長 行動力イコール議員の意識改革ですよ。それは当然見習うべきだと思います。

ほかの委員の希望というか、ないのであれば、この金繁委員の何個か出た中で、二つ三つにまず絞って、これ任期もないのに全部できるわけやないし、今回は何を取り上げるかという項目を決めたいんですよ。その項目を絞ってもらいたいんですが。

すみません、勝手に委員長が方向を決めてしまって。

これ、ほかの委員の方からないんで、ただ唯一、金繁委員からこれだけ要望が出たんです

が、この要望について、私は何点かに絞って、まず決めるべきと思うんですが、皆さんの御意見を伺いたいと思います。

当然なかなか任期もないのでこれ、結論、当然なかなか出しにくいんで、まずは何点か取り組む、何ていうかな、それを決めていただきたいんですが。

金繁委員。

○**金繁委員** すぐにはお答えなかったのですが、私のほうから希望を申しますと、選挙公報ですとか、会議録の業者委託の廃止とかというのはすぐにはできないので、この2つをちょっと降ろして、今回ですね、すぐにできることとしては全ての会議を放送するにしようということと、学識経験者について入ってもらうかどうか検討して、来年度から始めるかどうかという決断ぐらいはできるかなと思いますので。

それから傍聴者の古い規則を見直し、これもほかの議会がやっているものを参考にして変えることはできると思うので、早急にできるものとして、重大性もそこそこあるものとして、私は1・7・13を検討願えたらと思います。

政務調査費もちょっと時間がかかると思うので。

○**山下委員長** 金繁委員からの意見が今、出ました。1・7・13をまず検討課題として挙げてもらいたいということなんですが、ほかの委員の方、御意見伺います。

那須委員、どうですか。

○**那須委員** 私、実際に行っていないので、なかなかあれなんですけど、結構だと思います。

それで、14の政務調査費ですよ、これ愛媛県で唯一、久万高原町がやって、1年でやめたという政務調査費なんですけれども、私はここで議会も真剣に議員報酬について考えるべきだと思いますよ。これは大体、次の選挙に出ない人が、最後っ屁にやるんですけども、議員報酬については、これは新しい人たちは御存じないかもしれませんが、委員長なんかは御存じですけども、一番最初の74人、75人ぐらいから24人になったときに、あまりにも議員が多いので、当面は議長、副議長を、議員報酬を上げて、24人になったときに議員の報酬を考えますというのが、特別職の報酬審議会の意見でありましたね。それになってもう20年近く、16年、18年か、一回もそういうことについて真剣に報酬審議会も議論してないし、議員のほうも一度要求はしても実現しないと。

私は上げるというのではないですよ、ただあのときの約束はほごにされたのかということ、再度きちんと検討してもらいたいということをお願いしたいので、別に上げるとか下げるといっていいんですが、一度議会のほうも議員報酬について考えるべきだということに思いますよ。

○**山下委員長** 、まあまたその件については、議長も交えて、みんなで検討していったらいいと思います。

今回、今、1・7・13について検討してもらいたいという意見なんですけど、まずこれを、3つを取り組んでいこうということで、皆さんよろしいですか。

石川委員。

○**石川委員** それであれば14も追加したらいいと思います。

○**山下委員長** 今、14も追加と。まあこれ例えば増えて4つになっても、一つ一つ順番にいくので、同時進行でさっといけるような議案ではないので、当然次の議運にほとんどかかってくると思うので。

14も入れてくれという意見なんですけど、それでよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○**山下委員長** それでは、1・7・13・14を検討していくということに決定します。

事務局のほう何かありませんか。

本多事務局長。

○本多事務局長 この中で1番の、全ての会議をテレビ放送とインターネットの放送ということがあったかと思うんですけども、これについては、まず、いわゆるテレビプログラムの話になりますので、相手方がいるということはちょっと念頭に置いていただきたいと思っております。

以上です。

○山下委員長 ほかに何か御意見ありませんか。

(「なし」と言う者あり)

○山下委員長 ないようですので、次、その他に移ります。

事務局のほうにちょっと、次回の検証作業のタイムスケジュールについて、今回まとめたのを委員の皆さんにタブレットで配付します。その中で見ていただいて、何かこう変更点とか、質問事項とかあれば、今後もう一回議運を開いて協議するということですよ。

それでよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○山下委員長 では、そうさせていただきます。

その他で、事務局のほうで何かありませんか。

(「ないです」と言う者あり)

○山下委員長 ほかに皆さん、何かありませんかね。

(「なし」と言う者あり)

○山下委員長 ないようですので、これで議会運営委員会を終わります。

お疲れさんでした。

委員長